

おいしい健康学

大腸ポリリーブの消失・縮小効果が確認された『乳酸菌生成エキス』のパワー。

ヒト試験で
実証!

私たちの腸内には乳酸菌をはじめ無数の細菌が棲みつき、ヒトの生命活動をサポートしている。ただ、腸内細菌の種類やバランスなどは、指紋のように一人ひとりに全く違っているという。

「さまざまな種類がある中で自分の腸内環境と相性のよい腸内細菌が棲んでいます。腸内細菌の環境は年齢やライフスタイルにより変化するため、特定の生きた乳酸菌を大量に摂取しても定



大腸ポリリーブの一例

着せずに通過して、ほとんどは便と一緒に排泄されるといわれています。それゆえに、『自分の腸内細菌』のバランスを保つことが重要なのです」

こう話すのは、(株)ビーアンドエス・コーポレーションの常務取締役・福井勝さんだ。曾祖父にあたる創業者・正垣角太郎氏は、京都の医師でありながら、「乳酸菌を人びとの健康に役立てたい」と、今から104年前に

日本で初めてヨーグルトの製造販売を始めたとされる人物だ。同社はその理念を受け継ぎ、100年以上にわたり乳酸菌研究に邁進してきた。そして、長年の研究から、牛乳よりも高密度培養が可能になる豆乳への転換を図り、さらに生きた乳酸菌から乳酸菌の分泌成分「乳酸菌生成エキス」へとシフト。同分野のトップランナーとして知られて

腸内フローラ(細菌叢)は指紋のように一人ひとりまったく違う。そのため、いくら体に良いとされる菌を生きたまま腸に届けても、自分に合った菌しか腸に棲みつくことはできない。そこで注目したいのが、「自分の腸内細菌」に働きかけ理想的な体内環境をつくる『乳酸菌生成エキス』だ。

photo person) Kichi Matsumoto, Izzi Yoko Watanabe, design Takaya Nagasawa

特殊製法で抽出した乳酸菌の生成物が体内で働く

『乳酸菌生成エキス』は、大豆と乳酸菌16種を使って2段階に分けて発酵させ、1年間熟成させたもの。この特殊製法——16種共棲培養特殊抽出法で得られた乳酸菌の「代謝産物」(乳酸菌が作り出したエキス)と「菌体物質」(乳酸菌の細胞物質)が含まれる。「代謝産物」は腸内細菌を活性化し、多様性をもって増殖を促進。腸内の細菌バランスに働きかけ、理想的な腸内環境を保つと考えられています。対して「菌体物質」は腸管免疫系に作用して全身の免疫バランスを整える働きがあると推測されます(同前)

腸内細菌の最新研究では、善玉菌・悪玉菌が敵対するのではなく、菌それぞれに役割があり、全ての菌が関係し合っていることが判明。「乳酸菌生成エキス」は腸内細菌の種類を多様性をもって整え、菌の総量を増やしている(グラフ1)のである。さらに、『乳酸菌生成エキス』の摂取による効果検証のために、大学の様々

副作用のない、大腸がんの予防法・治療法として期待

2014年に九州大学の藤野武彦名誉教授らの研究チームが行った「大腸ポリリーブの消失・縮小効果」の研究に注目したい。大腸ポリリーブはある程度の大きさ以上になるとがんを含む可能性が高くなり、早期の摘出が望ましい。大腸ポリリーブ対策は大腸がん予防に通じるといわれている。この研究では、事前検診で大腸ポリリーブが認められた患者20

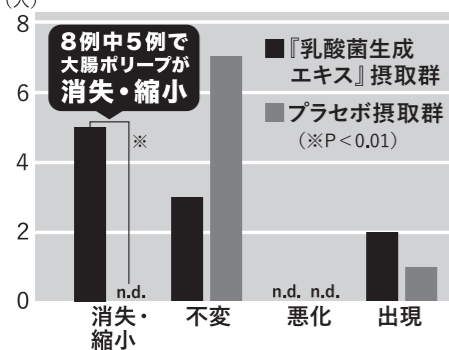
例を対象に無作為に、10例ずつ『乳酸菌生成エキス』摂取群とプラセボ(偽薬)摂取群に分け、二重盲検比較試験を実施。結果、『乳酸菌生成エキス』摂取群ではポリリーブの消失・縮小が有効解析例8例中5例で確認。プラセボ摂取群(有効解析例8例)では、ポリリーブの消失・縮小は認められなかった(グラフ2)。

同グループでは、先行研究で実験的にマウス全88匹に大腸がんを発生させ、『乳酸菌生成エキス』投与群と非投与群で、大腸腺腫、大腸がんの発生率の差異を検討。投与群は、非投与群に比べて大

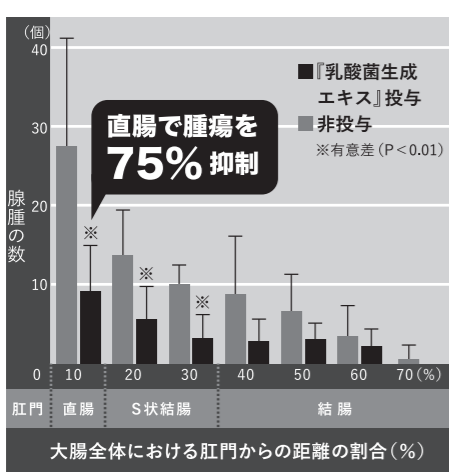
腸腺腫、大腸がんの発生率、腫瘍数の著明な抑制を確認している(グラフ3)。

増加する大腸ポリリーブや大腸がんに対して、『乳酸菌生成エキス』は副作用のない次世代型の予防あるいは治療技術として注目され、すでに全国2000もの医療機関で導入されている。生きた菌は含まれていないので紅茶、お味噌汁、スープなどの温かい飲み物に入れても効果は変わらない。「自分の腸内細菌」の環境を整える『乳酸菌生成エキス』を健康長寿のために採り入りたい。

グラフ2 『乳酸菌生成エキス』摂取前後の症例数の変化

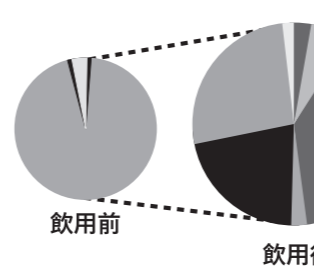


グラフ3 発がん物質による腺腫発生に対する『乳酸菌生成エキス』の効果

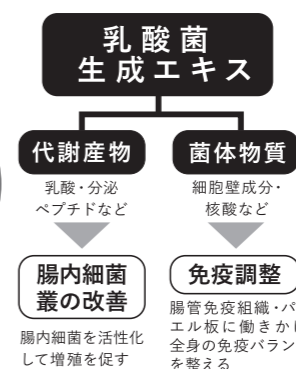


出典 ●グラフ1: (株)ビーアンドエス・コーポレーション 貴家康尋(農芸化学・博士) ●グラフ2: 九州大学名誉教授・藤野武彦 日本食生活学会誌 25(1)2014 ●グラフ3: 同大・藤野武彦 ギリシャ医学誌「オンコロジーレポート」掲載 Oncology reports 8: 1073-1078,2001

グラフ1 『乳酸菌生成エキス』飲用による腸内細菌叢の変化(著効例)



『乳酸菌生成エキス』の成分と機能



『乳酸菌生成エキス』のパワーについて語る福井勝氏(ビーアンドエス・コーポレーション常務取締役)